

市議会モニター制度について

任期について

○市議会モニターになって議会のことがよくわかるようになった。市議会モニターになるまでは市議会だよりを読んだことがなかった。地域の人に議会のことをぜひ知ってほしいので、地区市民センターは「この人にやってほしい」という人に市議会モニターを任せた方がいい。また、任期は1年にして、多くの人に経験してもらった方がいいと思う。

→ 議員）多くの市民に議会のことを知ってもらえば、議会への理解が進み、関心を持つ人が増えると思われる。

○地区推薦の市議会モニターは誰が人選しているのか。また、公募は市議会が直接募集しているのか。

→事務局）各地区市民センターの館長に推薦を依頼している。公募については、市議会ホームページ等の広報媒体で応募を呼び掛けている。

○多くの人に市議会モニターを経験してもらいたいと思うので、任期は1年でいいと思う。

○議会側から考えると、任期が短い方が多くの意見を聞くことができるので、任期は1年でいいと思う。

○市議会モニターの任期は、1年ではなく2年が妥当だと思う。1年では議会のシステムや議員の質問を十分に理解できない。2年目に入ると余裕が出て、さまざまな面から議会をチェックできるようになる。議会の傍聴し、議員の姿勢や質問の様子を直接見ることで、議会に対する理解を深めることができるので2年が良いと思う。

→ 議員）「昼間は仕事があって傍聴に行けない」という声は多いので、ご意見は参考にさせていただきます。

○議会運営や議員の姿勢を直接見ることで、市政への理解を深めることができるので、任期は2年でいいと思う。

○市議会モニターの職務に「会議を傍聴し、当該会議の運営に関する意見を文書により提出すること」とあるが、意見の提出は必須なのか。また、議会が意見を聞くのは市議会モニターだけなのか。意見箱を設けるなど広く一般の人からの意見も受け入れるべきではないか。

→事務局）意見の提出は必須ではなく、可能な範囲でお願いしている。また、一般の人からは市議会ホームページや電話などで意見が寄せられている。併せて、本会議の傍聴受付に意見箱を設置しており、意見を出せるようにしている。

職務について

○市議会モニターは議会運営の要望や意見を提出しているが、現在の制度では、議会運営に関する提案が中心であり、政策に対する提案ができない。そこで、市議会モニター制度の目的を拡大し、政策に対する提案も可能とすべきである。

○政策に市議会モニターの意見を反映させることで、市の運営が混乱する可能性がある。市民は自分

たちの代表として議員を選び、代表者である議員が政策を考える。一部の市民の意見で市の方向性が決まる恐れがあるので、市議会モニターからの政策提言はやめるべきだ。

○政策提言を行うと、市議会モニターが陳情団体になってしまう可能性があるため、市議会モニターの役割は傍聴や視聴に留め、政策提言は議員に委ねるべきである。

→ 議員) 市議会では、市議会モニターの経験を生かして、市議会とともに四日市市を良くしていくという気持ちがある人を市議会アドバイザー・サポーターとして活用することを考えており、具体的な内容を議会改革検討会議で議論している。

○その市議会アドバイザー・サポーターには市議会モニターからどんな人材が選ばれるのか。市議会モニター制度自体がアドバイザー・サポーターの選抜試験のような扱いになってしまうのではないか。

→ 議員) 市議会モニターには様々な経緯で地区等から選出されるほか、公募でも就任している。その中で、市議会モニターで得た経験を活用したいと希望する人に、市議会アドバイザー・サポーターになっていただくことはできないかと議会改革検討会議で検討している。

→ 議員) 市議会モニターが政策提言できるようにすべきではないかという意見は、「身近に議員がいない」「議員が遠い」という市民からの声にあるように、議員としての在り方を見直すきっかけになると認識している。

○市議会モニター設置要綱にある「議会運営に関する意見」とは具体的に何を指すのか。

→ 議員) 議論が深まっていないのに次の議題に移ったり、会議中の議員の言動や態度、市民の目から見て、議論が分かりにくかった部分など、議事進行上の課題に関する意見を議会運営に係る意見だと考えている。

○市議会アドバイザー・サポーターは議会に対して意見や陳情を行う場にするのか。

→ 議員) 市から議会に提案された政策に対して、意見を述べてもらったり、議員と意見交換をしてもらうことを考えている。

○市議会モニターは地区から選出されているが、地区へ還元できるメリットは何もない。地区から選出する理由は何か。

→ 議員) 例えば、市内には議員がいない地域があるが、議員のいる地域の政策ばかりが議論されるのであれば、市議会モニターから地域の偏りを是正するように指摘してもらうことが考えられる。

市議会を傍聴、視聴して思うこと

○一般質問をする議員に対して、会派はどのような支援をしているのか。

→ 議員) 一般質問で扱うテーマは議員個人に委ねられている。疑問点を先輩議員に尋ねると相談に乗ってくれる。また、一般質問終了後には今後のアドバイスをもらっている。

→ 議員) 会派内で一般質問で取り扱いたい事項について話し合う。先輩議員に原稿をチェックしてもらい、アドバイスをもらっている。

○一般質問で取り扱った事項について、その後の状況把握はしているのか。

→ 議員) 改善を要求した事項が何年後かにでも実現すれば、自分の提案が評価されたと思う。実現されない場合でも、定期的に同じ事項について質問をして現状確認をする議員もいる。

→ 議員) 私は6月定例会月議会と8月定例会月議会と同じ質問をしたが、2回とも提案内容の実現は難しいと言われたので、関係者会議を開いてゼロベースで協議したいと執行部に要望している。

**○執行部から内容が複雑で難しい答弁がなされたときに、議員が「わかりました」とだけ返答していると場面があるが、本当に内容が理解できているのか。傍聴していて、私は難しく理解できなかった。**

→ 議員) 議員は、一般質問の内容を考える際に他市の事例や先例を調べている。そのため、ある程度は答弁内容が想定できる。想定どおりの答弁があると、「わかりました」とすぐに切り上げて、次の質問に進むようにしている。

→ 議員) 一般質問の前に執行部へ現状の聞き取りを行うが、そこで聞き取った内容からさらに踏み込んだ内容の質問をするように心掛けている。

**○執行部からの答弁は、説明が回りくどく、丁寧すぎるほどの丁寧語で説明するので非常に分かりにくい。改善するように執行部に伝えてほしい。**

→ 議員) 議員から理解が得られるよう、答弁の際には、執行部が詳細な説明を行っているのだとは思いますが、見ている人には分かりにくくなっているように感じる。執行部へ提案したい。

市議会モニター制度について

○市議会モニターは議会と地域のパイプ役として、地域の課題なども話し合えるような形にしてほしい。また、市議会モニターの意見が反映されたか確認するため、任期は3、4年としても良いのではないかと。

○市議会モニターを経験することで市政や市議会に関心を持つようになった。多くの人に市議会モニターを経験してもらおうと良いと思う。ただし、任期が1年では良く分からないので、2年はあった方が良くと思う。

→ 議員）議会での議論を広めていただくという部分でも市議会モニターは大きな役割を担っていると考えている。

○地域の課題はそれぞれの議員が話し合うので、市議会モニターの任期は2年程度で良いと思う。

○市議会モニターの任期は最低でも2年とし、関心のある人は最高で5年程度まで認めてはどうか。

○地域の問題は議員がしっかりと議論をすれば良いと思う。市議会モニターの任期は多くの人に参画してもらうためにも最高で2年程度としてはどうか。

○新しい人に様々な意見をもらえるようにすべきではないか。

○議会のことを知ってもらうため、必ず傍聴に来てもらうようにしてはどうか。

○学生だけでも任期は1年程度として、色々な学生に経験してもらってはどうか。

○多くの人に参加してもらおうことも重要だが、地域とのパイプをより太くするためには任期が2年では少ない。

→ 議員）市議会モニターの皆様の中でも、市政に関心のある人がさらに活発に意見を出せる機会を設けられないか検討していきたい。

○改選で議員が変わると併せて、最大で4年としてはどうか。

○今まで通りの市議会モニターの役割であれば任期は2年で良いと思う。地域とのパイプ役など新たな役割を担うのであれば3、4年程度あっても良いと思う。

○多くの人に経験してもらうため市議会モニターの任期は2年とし、希望する人がより積極的に意見を出せる別の制度を新たに設けてはどうか。

→ 議員）議会報告会について、市民が関心を持ってもらうにはどうすればよいか。また、市民にどうすれば伝わりやすいかなど意見があれば教えてほしい。

→ 議員）公募の人数を増やすなど、より意欲のある人が市議会モニターになっていただけるように検討したい。

市議会を傍聴、視聴して思うこと

○地域や市民団体の声をもっと聴いてほしい。

○一般質問で投影される資料が小さくて見にくい。資料をもっと大きくし、分かりやすく説明してほしい。

○一般質問について、質問の時間配分をしっかりとしてほしい。また、説明が丁寧すぎると思うので簡潔に質問してほしい。

- 一般質問について、原稿の棒読みでは聴きづらい。しっかりと議員の言葉で発言してほしい。
- もっと執行部へ繰り返し質問してはどうか。また、市長への質問が少ないのではないか。
- 一般質問の答弁が長いので簡潔にしてほしい。また、検討するだけでなく、いつまでにどうするのか答弁すべきと思う。
- 議案に対する意見募集について趣旨の分からないものがある。寄せられた意見に返答しないことは理解するが市民の意見をしっかりと聴くための方法を考えてほしい。
- 投影される資料が小さくて見えない。議員はプレゼンテーションの研修を受けてはどうか。
- 録画映像を議論のテーマから検索できるようにしてほしい。
- 議案に対する意見を送っても返答がないのでむなしい。
- 一般質問が原稿を読んでいるだけに感じる。しっかりと質疑をしてほしい。
- 平日に傍聴に行けないため、インターネットの録画映像を見るが興味がわからない。
- 研修会や意見交換会など、多くの市議会モニターが出席しているので日程等は大きく変更せず、これまでどおり開催してほしい。
- 研修会や意見交換会の予定を早くに連絡してもらえるので予定が立てやすい。
- 議会報告会は参加者が固定化しているので、開催方法を改めるべきではないか。
- 議会報告会について、地域で関心のあるテーマにすれば多くの人に来てもらえるのではないか。

市議会モニター制度について

任期について

- 2年で終了だと、次に誰になるか心配である。市議会に興味がある人もいるため、3年目以降も再任できると良い。
- 次は、今の自治会の役員に任せるしかない。
- 任期に問題はない。
- 1年目はよく分からなかった。任期は2年でいい。幅広く参加できると思う。
- 1年でも2年でもどちらでもいい。1年目はあっという間に終わった。ボランティアであるから、2年任期を強制してはいけない。なるべくたくさんの方に関わってもらう方がいい。
- 1年目に経験が蓄積するので、2年間やると、いい経験になると思うが、2年でも1年でもどちらでもいい。

職務について

- 働きながら、自治会の役員をやっている人が多いため、平日に時間がある人がやっている。
- 市議会モニターの役目について、どういう認識か。
  - 議員）市民からすると、議会は別世界との印象があると思う。市議会モニターから情報発信してもらうことは、より身近な議会にしていくために重要だと考える。歯に衣着せぬ意見をもらうことで、より良くしていきたい。
- 市議会モニター設置要綱には、職務は、当該会議の運営に関する意見を文書により提出するとしているが、会議の運営とは、何を指しているのか明確にする必要がある。
- 毎年、50名が参加しているが、職務が制限されているのではないかと思う。市議会モニターが何をやるのかははっきりする必要がある。傍聴は、一般の市民でもできる。市議会モニターになったら何ができるのかが重要。頼まれてやるだけでは、議場モニターの字が見えづらい等の意見を言うだけとなる。
- どこまでが職務なのかはっきりしない。
- 議決のための情報収集する際に、市議会モニターから意見を聴く機会があるといいのではないか。各地区から参加しているし、バランスの取れた意見になるのではないか。

やりがいについて

- 市役所のボランティアの中で、有償ボランティアが始まっている。日当や交通費の支給

があれば、やりがいにつながると思う。

- 市議会モニターになることのメリットがあると良い。市議会モニターのみ対象の特別講演やスポーツ選手が表敬訪問した際に何かできるかなど、目新しいことを実施してはどうか。市議会モニターになれば、参加できることがあるといいと思う。
- 例えば、市議会モニター経験者には、証明書を発行して、議長室に気軽に行ける、会派控室に行ける等のメリットがあるといいのではないか。
- 会派に行って意見交換できると良いと言われた意見に大賛成。これが実現できれば、すごくやりがいを感じられる。
- 市議会モニターが、例えば、環境問題のような特定の問題を議論することができれば、やりがいにつながるのではないか。
- 身近な問題が取り上げられると、興味がわいて、やりがいを感じるのではないか。
- 意見のまとめに自分の意見が載っていると、自分の意見を出せたとは思いますが、それだけではやりがいにならない。具体的なテーマについての意見を取り上げられるような職務があるとやりがいを感じると思う。
- 例えば、人権啓発活動とかは、目標（終了）が見えるが、市議会モニターは、目標が見えないので、やりがいを感じにくい。
  - 議員）意見を出しても、成果がすぐに見えてこないが、活動したことは無駄にはならないので、やりがいを感じてもらえたらありがたい。
- 市議会への興味が全くなかったが、傍聴するようになって、市の方向性を知れてよかった。幅広い人に参加してもらうことが市議会モニター制度の目標ではないか。
- 傍聴していて、他の地区や市全体のことを知れることが楽しみ。熟年大学に行っていると仮定して、市議会モニターに参加している。
- 市議会モニターに参加することで、特別な経験ができると思っていた。

#### その他

- 過去から考えると、1000人弱が市議会モニターを経験している計算になる。確認できた意見は78ページに及ぶ。その内容は、類似する意見ばかりであった。議場モニターが見えにくいなど、毎年、同じ意見が出ている。制度の在り方を検討する時期に来たのではないか。

#### 市議会を傍聴、視聴して思うこと

- 傍聴をたくさんしたが、議場モニターが見えにくい。最終日は、双眼鏡で見た。資料には説得力あるのもったいない。
- 参加者は席の3分の1しかいない。もっと、広報して参加を促すべき。
- 議場モニターが見えにくい。資料を配布することが一番いいのではないか。
- 今まで、市議会だよりは読まなかった。傍聴は、その場なので聞き入るが、CTY、イン

ターネット中継を見ても、関係ない話だと聴かなくなる。議場モニターが見えにくい。手元に資料があると良い。

○大学の授業で傍聴できないため、インターネット中継を見ている。説明資料のスライドをホームページに上げるとわかりやすいのではないか。

○議場での資料投影時、手元にモニター等があれば、見やすさが改善されると思う。

→ 議員) 分かりやすい投影を心掛けているが、傍聴者から見た視点で改善を考えていきたい。

○初めての傍聴の際、満員になると思い、30分以上前に来たが、傍聴者は、ほとんどいなかった。常任委員会でも意見を出せたし、議会の仕組みは大体理解できた。

議会報告会にも出席したが、常連が多い。ライブ視聴者の数は不明であるため、その場で、視聴者数が分かるといいのではないか。傍聴の数が少ないのは、寂しい。

○議場モニターが見えにくいことに対する改善案はないのか。このままでは、来年も、この意見で持ち切りになるのではないか。

→ 議長) 議員には、文字のフォントを大きくするように改めて周知したい。

○大学では、ホームページに資料を公開している。資料をホームページに残してはどうか。

○重要なところだけ拡大して映写すればいいのではないか。そういったことを心がけてほしい。

→ 議長) 傍聴者が資料をタブレットで見られるような方法も検討していたが、今回の予算申請では、タブレットの買い替えができなかった。4年後には、34台のタブレットを傍聴者用で使えるようになると思われる。

また、一般質問での資料は、議員の責任において使用しているものであり、正しい情報とも限らないため、議員からホームページへの掲載要望があった場合に掲載している。